

自分のことも、お友だちのこともみんな大事

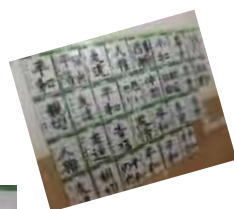
～市内児童・生徒 人権作品 巡回展示～

毎年、柏原市では、人権学習の一環として作成したポスター・作文・詩・標語・習字の中から、各小中の児童(高学年)、生徒の代表作品が各校で巡回展示されます。今年は、職員室前廊下に展示しました。

展示された作品を熱心に見つめる子どもたちと、一つ一つの言葉の中にある意味を解説する先生の姿が見られました。説明を聞きながら、「当たり前やん。」「友だちの心傷つけたらあかんわ。」「言う前に考えないと、自分がいやと思うのに。」など、話す子どもたちの声が聞こえてきました。こうやって、学校では、いろいろな機会をとらえて、人に対する思いやりの心を育てる教育を行っています。そうは言っても、つい友だちに対して嫌な言葉を言ってしまったとか、傷つけるような態度をしてしまったなど、子どもたちは、失敗してしまいます。それを見逃さないで、注意し合える集団を育てていきたいと日々努力しています。

自分のことも、お友だちのことも大事に思うことができる人になって欲しいと願う気持ちは、誰もが同じです。

寒い冬になってきましたが、温かい言葉と温かい心で、ポカポカした毎日を送っていきましょう。



やめようやわるくちなんかかっこわるい

堅下小5・6年生の作品です。

待ちに待った 堅下まつり 大盛況！！

1年で一番、子どもたちが楽しみにしていると言っても過言ではない、堅下まつりを開催しました。1年生から6年生まで、学級で考え、工夫を凝らしたコーナーが出来上がりました。「全学年が話をよく聞き、思い出に残るような楽しい堅下まつりにしよう。」という目標を児童会の人が開会式で発表してくれました。9時5分、色別の班長さんを先頭に、コーナーに向かう班、それを待ち構えるコーナー担当さん。「今ならすぐに入れますよ。」呼び込みの声も聞こえます。すべての学級のコーナーを回らせてもらいましたが、とっても楽しくて、挑戦している人も、コーナー担当の人もみんな笑顔でした。閉会式では、教頭先生から、アイデア賞、ドキドキ賞、スマイル賞、みんなで楽しめたで賞が全学級に贈られました。



～生理用品および収納ボックスの寄贈について～紹介が遅くなりました。

経済的な理由により生理用品を十分購入できない、いわゆる「生理の貧困」がニュースになっています。このような状況を受け、柏原市にゆかりのある企業様から児童・生徒の「生理の貧困対策」として、生理用品と収納ボックスを寄贈いただきました。

これまで保健室等に生理用品を常備していましたが、今回の寄附を活用し、トイレの個室に生理用品収納ボックスを設置しましたので、困った時には利用してください。